

## 私の赤ちゃんに難聴がない場合どうなりますか？

検査で難聴がないとわかった場合でも、赤ちゃんの聞こえ具合に注意しておくことは大切です。

成長とともに難聴を発症する危険因子を持っている恐れのある乳児がいます。お様が該当する場合は言語聴覚士がお知らせし、必要に応じて、1歳の誕生日を迎える前にもう一度聴覚検査を手配します。

危険因子を持つ乳児のうち、難聴を発症するのはごく少数ですが、勧められた場合には、追加の聴覚検査を受けることが本人にとって重要です。

難聴を早期に発見することによって、お子様の発話と言語の発達、将来の学習に役立つ最高のチャンスを得ることができます。

## クイーンズランド難聴患者家族支援サービス (QHLFSS)

クイーンズランド難聴患者家族支援サービス (QHLFSS) は永続的な難聴と診断された乳児の家族を支援します。お様が永続的な難聴を抱えているとわかった場合、家族支援促進員が連絡し、患児の両親と家族に長期にわたり支援を提供します。

このサービスは全ての家族が無料で利用できます。QHLFSSからの連絡がない場合は、1800 352 075で、連絡が可能です。

お子様の聴覚は何歳でも検査できることを忘れないでください。赤ちゃんの聴覚に心配がある場合は、かかりつけ医に連絡し、言語聴覚士への紹介状をもらい、赤ちゃんの聴覚を調べてもらいましょう。

### 聴覚精密検査予約

日時: .....

聴覚精密検査サービス: .....

住所: .....

電話番号: .....

赤ちゃんの2度目の聴覚スクリーニング後1週間以内に聴覚精密検査予約の連絡がない場合には、利用を予定している聴覚精密検査サービス、またはQHLFSSに1800 352 075にてご連絡ください。

### 予約に行けなくなった場合はどうしたらよいでしょうか？

予約に行けなくなった場合は、予約日前に、できるだけ早く言語聴覚士に連絡し、予約をキャンセルして取り直してください。

乳児のテストは、幼いうちに（よく眠るため）行うのが理想的です。予約の延期は可能な限り避けましょう。

### 予約にかかる費用はいくらですか？

聴覚スクリーニング担当者がお住まいの地区で利用できる聴覚精密検査サービスについて詳細をお伝えします。

政府の提供している聴覚精密検査サービスは、メディケアの対象となっている乳児は無料で利用できます。生まれた場所が公立病院か私立病院に関わらず、乳児全員が利用できます。

民営の言語聴覚士にかかる場合は、検査に費用がかかりますので、連絡して相談する必要があります。

# Your Baby's Audiology Hearing Test 赤ちゃんの聴覚精密検査



お子様は、聴覚の追加検査のため言語聴覚士に紹介されました。

このパンフレットでは、紹介の理由と、これから何が起きるのかを説明します。



Queensland  
Government

## 私の赤ちゃんは、なぜ言語聴覚士に紹介されたのですか？

お子様は、2度の聴覚スクリーニングで「要紹介 (refer)」の結果が出ました。この結果は、スクリーニングでは難聴の可能性を除外できず、言語聴覚士による追加の聴覚検査が必要になったということの意味しています。

聴覚スクリーニングで「要紹介」の結果が出た場合、原因はいくつか考えられます。お子様には以下のいずれかが該当する可能性があります。

- 永続的な難聴
- 液体または生後に一過性の耳の閉塞があったために生じた一過性の難聴が、聴覚スクリーニングの時に影響した可能性
- 2度の聴覚検査両方で、落ち着いていなかった
- スクリーニング時に周囲の雑音を聞いた

## 言語聴覚士とは何ですか？

言語聴覚士は、詳しい聴覚検査 (診断的聴覚検査) をする技術と設備を持つ聴覚の専門家です。

## 診断的聴覚検査とは何ですか？

診断的聴覚検査では、赤ちゃんの聴覚が正常かどうか、もしくは難聴を持っているかを検査します。お子様が難聴を抱えている場合、診断的聴覚検査では、次のことがわかります。

- 難聴が一時的か永続的か
- 難聴のレベルあるいは程度 (軽度から完全な難聴まで)
- 難聴が片耳か両耳か

赤ちゃんの聴覚についてすべての情報を得るには、たいいてい2回以上の診察が必要です。

## テストの間どんなことをするのですか？

言語聴覚士が数種の異なる検査をします。検査ごとに、お子様の聴覚系の異なる部分を調べます。言語聴覚士が診察時に各検査について説明します。

## 私の赤ちゃんは、いつテストを受ける必要がありますか？

両耳とも「要紹介」の乳児は、2度目のスクリーニングから2週以内に検査を受ける必要があります。片耳だけが「要紹介」の乳児は、2度目のスクリーニングから6週以内に検査を受ける必要があります。

## 検査はどのくらいの時間がかかりますか？

乳児ごとに時間は違いますが、1回の予約で最大3時間かかることがあります。これだけの時間がかかる乳児はほとんどいませんが、念のため半日見ておく方がよいでしょう。

## 検査のために赤ちゃんにはどんな準備をしたらよいですか？

言語聴覚士がお子様の検査の準備について電話を差し上げるか情報を送ります。

事前に準備をしておくことと検査がスムーズに実施できます。予約に訪れる際にお子様は目を覚ましつつも、疲れていてすぐ眠れる状態である必要があります。

このような状態にしておく理由は、お子様が動くと検査に支障を及ぼすため、検査の大部分は眠っている間に行うからです。



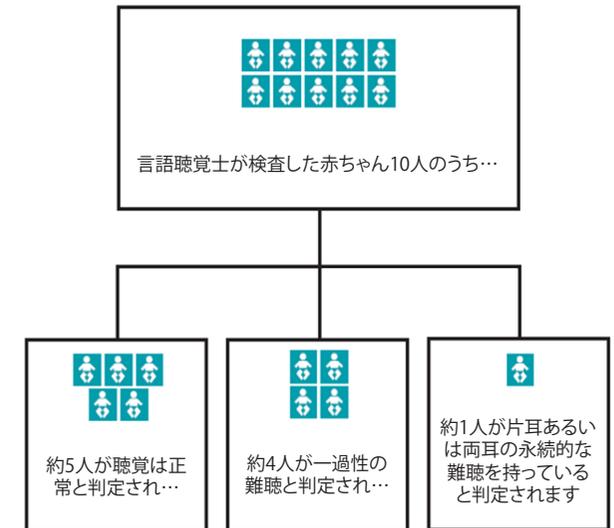
検査では赤ちゃんが痛みを感じたり傷ついたりすることは全くありません

準備についての連絡がなかったり、どうしたらいいかわからなかったりする場合は、予約日の前に言語聴覚士に電話することが大切です。

## いつ結果がわかるのでしょうか？

言語聴覚士が、各予約時に聴覚検査の結果についてお話しします。

## 診断的聴覚検査で出る可能性のある結果にはどのようなものがありますか？



## 私の赤ちゃんに難聴がある場合、どうなりますか？

一過性の難聴なら、聴覚をモニターするため言語聴覚士に再度赤ちゃんを診てもらう必要があります。一過性の難聴が改善しない場合、言語聴覚士は、赤ちゃんが耳鼻咽喉科 (ENT) 専門医の診察を受けることを勧めます。

お子様が永続的な難聴を持っている場合、言語聴覚士は以下に挙げるサービスのいずれか、あるいはすべてに紹介します。

- 小児聴覚クリニック
- 耳鼻咽喉科専門医
- 小児科医
- オーストラリアン・ヒアリング (Australian Hearing) (補聴器調整のため)
- クイーンズランド難聴患者家族支援サービス (QHLFSS)
- その他、必要に応じた専門家のサービス